

裾野麗峰山の会・山行報告書		文・山田敬	写真・後藤
山行 NO.	1993		
日 時	2022 年 05 月 29 日 (土) 晴・涼しい強風		
山 域	甲斐駒ヶ岳＝日向八丁尾根・鞍掛山 (2037m)		
コース	長泉 6:00 ー 竹宇駐車場発 7:29 ー 錦滝 9:12 ー 雁ヶ原コル 10:15 ー 日向八丁尾根・鞍掛山分岐 12:13 ー コルー鞍掛山展望台 13:08～30 (昼食) ー 日向八丁尾根ー雁ヶ原ー日向山 15:45 ー 18:14 ー 長泉 (反省会) 21:00		
累計標高差	上り	竹宇駐車場約 775m～駒岩約 2029m＝約 1254m 駒岩・鞍掛山コル約 1935m～鞍掛山 2037＝約 102m 駒岩・鞍掛山コル約 1935m～駒岩 2029m＝約 94m 八丁尾根 P1622mの上り＝約 35m 雁ヶ原コル約 1590m～日向山 1660m＝約 70m 合計＝1555m	
難易度	非常に困難	レ困難	やや困難 普通 やや易しい 易しい
<b>綺麗・可憐・愛しい、クモイコザクラ</b>			
参加者	後藤、井上、勝又、伊藤、山田敬＝5名		
ど～が～	<a href="https://susono-reihou.babyblue.jp/0000-31.mp4">susono-reihou.babyblue.jp/0000-31.mp4</a>		

前日までほぼほぼ雨や曇りが続いていたが、今日は快晴。登山日和。新緑が残り、空気がまださわやかだ。日向八丁尾根を通過して鞍掛山に登る計画。

時期的に道中クモイコザクラが咲いているらしい。7時30分に駒ヶ岳神社駐車場を出発。キャンプ場を左手に見ながら、矢立石登山口まで350mほど登る。日差しは強いが、樹林帯の中を行くので、暑さはない。

一旦、車道に出て、矢立石登山口へ。そこから尾白川溪谷沿いの元林道を進む。いわゆる林道トラバースだが、道は荒れていて、途中、大きな土砂崩れ後を越えるところもあった。タガソデソウ（誰袖草）やクリンソウ（九輪草）が群生するところも楽しみつつ、9時10分くらいに錦滝に到着。

水量は多いとは言えないが高さがあり、見ているだけで清涼感がある。滝横の東屋で少



ババさまの「おじろ」



黒戸尾根・七丈小屋管理人の斎藤さん



林道から甲斐駒



誰袖草



九輪草



錦滝東屋



厳しい階段



し休憩。その後は雁ヶ原に向かって、一気に駆け上がる。木の根の急登が続く。土と根の足場なので登りやすいところもあるが、手にとげが刺さったり、木の枝が危なかったり、岩の急登とは違った難しさがある。

1 時間ほど登ったら、足下が急に砂に。あれと見上げると、空の下が砂浜だ。青い空と白い砂のコントラストが美しい。右手の先が日向山らしい。日向山は花崗岩が風化した真っ白な砂浜で「天空のビーチ」と呼ばれているらしい。あの砂浜の頂上に行ってみたくと



雁ヶ原上り



オオシラビソ原生林

大きくなった甲斐駒

思ったが、お楽しみは後程ということらしく、雁ヶ原（標高 1592m）を日向八丁尾根の方向に向かう。この一帯は原生林で人があまり入っていないからか、足元は落ち葉などでふかふか。コケもいろんな種類を見ることができた。

木立の合間に見える南アルプスがすばらしい。しかし、尾根歩きが長い。駒岩まで 2 時間弱かかった。時計を見ると 12 時を過ぎている。お腹がすいた。朝食を食べたのは朝 4 時ごろ。それはそうだ。

しかし、鞍掛山に着くには、まだここから 100m くらい下って登る行程がある。地獄に

落ちる気分だが、昼食をとるためには、下るしかない。あーっと絶望的に下り切る。これから最後の登りという道脇の岩場に、クモイコザクラ（雲居小桜）が咲いていた。今日の目的の一つだ。上品な紫色のサクラに癒された。



クモイコザクラ・素晴らしい花々

ここから鞍掛山までの崖登り。なんとかがんばって鞍掛山の山頂（2037m）についた。山頂は木に覆われて地味。展望台を示す標識があり、またそこまで登ったり下りたりして、13時過ぎにやっと鞍掛山展望台到着。甲斐駒ヶ岳が真正面に青空の中に大きく見える。



鞍掛山展望台



下山

大迫力！ここでゆっくり昼食をとりたかったが、予定より遅くなっているから昼食は30分ということで、早々に飲んで食べて後半戦へ。

駒岩、日向八丁尾根を大返して急ぐ。日向八丁の「八丁」は、「胸突き八丁」の言葉が由来の「長く険しい道」という意味らしい。確かに長くて「八丁」だ。

雁ヶ原に戻り、日向山の砂山を登る。山頂到着（1660m）。甲斐駒ヶ岳、八ヶ岳の大パノラマ。お昼に行ってきた駒岩、鞍掛山も近くに聳え立っていた。ビールでも飲みながら「よくあんなところまで行ったよな」と感慨にふけりたかったが、もう時計は16時。いつもは



日向山上り



温泉から帰る時間。下山を急ぐ。延々と単調な1本道の笹原を下る。ここも精神的に八丁だ。後藤さんはずっと先に行ってしまった。

こんなに下山が遅くなっているので「もしかして後藤さんは先に駐車場まで行って車で林道まで迎えに来てくれるんじゃないか？」というあらぬ期待を抱きつつ、とにかく我慢して降りる。やっと人の声が聞こえてきた。林道が近い。

人影が見えた。後藤さんだ。車は？、、車はなかった。聞こえていた声は私たちを待っている後藤さんと若者が談笑している声だった。



山梨・双葉町の気持ち良い若い衆

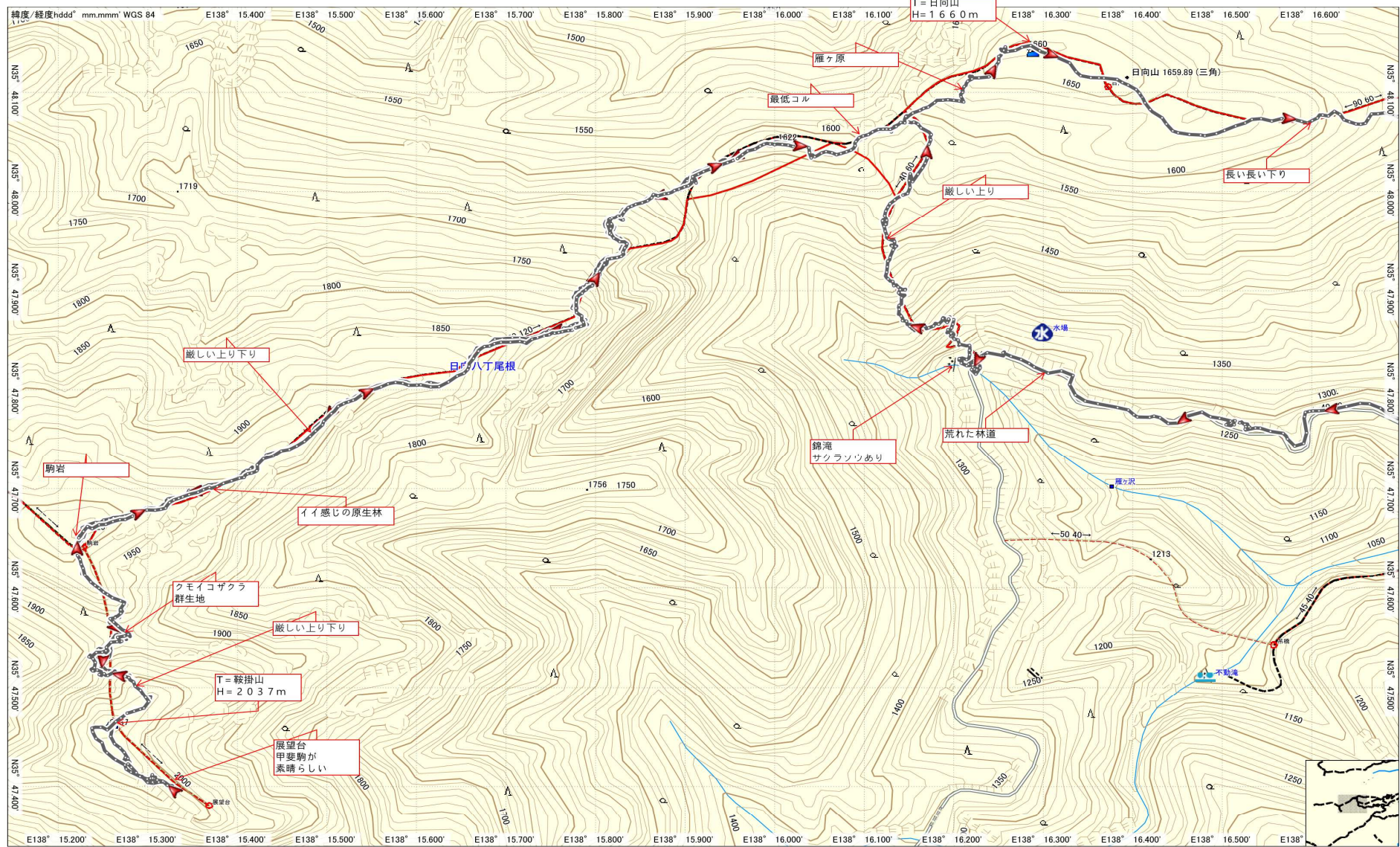
後藤さんは林道で30分くらい待っていたらしい。ここから駐車場まで、まだ40分歩いて下りないといけない。行程を計算するとさすがの後藤さんでも車で迎えに来るのはありえない話だった。

あと40分、されど40分。あとはフラフラで駐車場に着いてゴール。出発から10時間半。累計標高差＝約1520m!!!。無事歩き切りました。長い長い～山行でした。

#### その他の記述（後藤）

1. 「おじろ」のババさまにご挨拶。元気そうだった。飴を貰う。パトの県警と黒戸尾根・七丈小屋管理人の斎藤さんが居た。もう一人の小屋手伝いは、函南町のワタナベさんという。
2. 矢立登山口の駐車は、少し下なら路肩にある程度駐車出来る。
3. 日向八丁尾根標高1800m付近で会った最初の高年男性二人の下山者は、矢立登山口を4:30に出発したそうだ。
4. 鞍掛山は崖上り。雨後は要注意。悪い箇所はチェーンが整備されている。
5. クモイコザクラは、素晴らしかった。ただ、一週間くらい遅かったかも。
6. 鞍掛山標高は2037m。展望台は、この先で地図上では、20m程低い。
7. 錦滝から雁ヶ原の上りは、荒れているが問題なく歩ける。下山は、日向山尾根コースが長いので、錦滝コースが楽だろう。ただ、こちらは日向山に寄れない。
8. 日向山尾根コースは、兎に角長い。林道コースを早急に整備することを希望する。
9. 反省会を終えて帰宅は23時だった。こんな山は近年なかった。（`艸`）
10. 登山者は多かった。人気が伺えた。ただ、ズック履きが何人か居た。

以上



Japan Topo 10M Plus V3  
 GarminMapService Co., Ltd 2014  
 Garmin Corporation 1989-2014

2022/05/30 10:38:07